

2023年度 飛鳥未来高等学校 基本データ等

【創設】2009年4月1日

【理事長】昼間 一彦

【校長】植村 育代

【課程・学科】通信制・普通科

【本校及び各面接指導実施施設・定員数・所在地・通信教育を行う区域】

教育施設	定員	所在地	通信教育を行う区域
奈良	240	奈良県天理市櫛本町 1514-3	奈良県、京都府、大阪府、和歌山県、三重県
札幌	1,280	北海道札幌市中央区大通西 17-1-15	北海道
仙台	840	宮城県仙台市宮城野区榴岡 4-9-10	岩手県、宮城県、山形県、福島県
池袋	600	東京都豊島区南池袋 2-31-2	東京都、千葉県、埼玉県、山梨県、神奈川県
横浜	960	神奈川県横浜市神奈川区富家町 6-7	神奈川県、東京都、静岡県、山梨県
名古屋	1,800	愛知県名古屋市西区名駅 2-20-18	静岡県、長野県、愛知県、岐阜県、三重県
大阪	1,280	大阪府大阪市淀川区西中島 6-11-23	京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
福岡博多	720	福岡県福岡市博多区博多駅東 3-6-21	山口県、福岡県、大分県、佐賀県、熊本県
千葉	1,080	千葉県千葉市中央区本千葉町 8-9	千葉県、茨城県、埼玉県、東京都
広島	840	広島県広島市南区稲荷町 1-27	岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、香川県
綾瀬	760	東京都足立区綾瀬 2-30-6	東京都、千葉県、埼玉県、山梨県、神奈川県、茨城県
横浜関内	630	神奈川県横浜市中区長者町 4-9-10	神奈川県、東京都、静岡県、山梨県

【教員及び職員その他教職員組織に関すること※2023年5月1日付学校基本調査参照】

校長	1
副校長	2
教頭	13
教諭	145
講師（非常勤）	237
養護	1
事務職員	42
学校医	12
学校歯科医	1
学校薬剤師	1

【総定員数・在籍生徒数・入学者数・退学者数・進路決定者数 ※2022年5月1日付学校基本調査参照】

総定員数	11,030	備考
5月1日在籍生徒数	9,313	2023年度
入学者数	3,443	2023年度
退学者数	495	2022年度
卒業者数	2,625	2022年度
進路決定者数	2,108	2022年度

2022年度 運営状況

新型コロナウイルスの感染予防対策等、各地域の自治体の指導等も踏まえ、教育活動を行ってまいりました。特に通信教育の特性を生かして、オンライン授業の体制（同時双方向によるHR及び授業、オンデマンド授業）を迅速に整え、生徒の健康維持とともに教育の質の確保に努めてまいりました。2023年度はafterコロナとして感染対策等は変わらず徹底しながらも、普段の学校生活、学校教育を実践していけるよう柔軟に対応し、引き続き教育環境の充実・教育の質の確保に努めてまいります。開校以来、収容定員の変更をおこなってきましたが、規模の拡大に伴い教育環境の担保及び管理体制の強化に取り組んでおります。平成30年度、文科省主催にて実施された点検調査においても、広域制通信制高等学校として一定の評価を得られたと考えております。本校を中心とした教育体系の改善、教育内容の標準化及び均一化が必要だと認識しております。今後は地域特性を生かし地域に根ざし、社会から求められる学校運営を行うとともに、教育力で社会に貢献できる高等学校を目指します。社会的なニーズをとらえ、必要とされる高等学校となり、通信制の特性を生かした教育（教育の質の確保）に取り組んで参ります。

【教育環境】

各面接指導実施施設にて自法人の専修学校校舎及び同等の水準の校舎を活用しています。より教育効果を高めるため、ICT環境及びWi-Fiの整備も全面接指導実施施設にて完了しております。

【生徒の学習活動の支援等】

本校は面接指導実施施設として運営していることから、各キャンパスにてすべての教育活動が実施されるよう教員を配置しています。併せて、生徒の安全確保の観点から各キャンパスにて校医、カウンセラーを配置しています。担任制を実施する中で、通信制という特殊性を考慮し、面接指導実施の規模や運営状況に応じて指導に差が出ない主幹教諭の支援体制や校医・養護教諭・スクールカウンセラーとの連携を整えております。

【学校評価について】

学校評価アンケート実施概要

	教職員アンケート	担任アンケート	授業の進め方アンケート	保護者アンケート
実施時期	2月～3月	2月～3月	2月～3月	3月
評価対象	学校	担任	教科担当	学校
評価	5段階	5段階	5段階	5段階

学校評価結果概要

評価項目	2022	2021	結果	今後の課題等
学校運営 教育方針 教務	4.1	4.1	昨年度と同等の結果となった。客観的な評価に基づき、教育理念・教育方針が浸透する環境が設定されていると考えられる。引き続き教育理念の浸透について取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none">・全体会議、成績判定会議にて教職員における運営状況のディスカッションを実施し、共通理解を図る。・教育理念、学校方針に基づく具体的な指導方法を明確化し統一した指導を行う。・生徒指導など統一した指導の機会を増やし、教育理念・学校目標の浸透を図る。
教育内容 生徒指導 進路指導	4.1	4.2	昨年度と同等の結果(昨年度と比較し微減)となったが生徒の人数増加に伴い、多様な生徒の受け皿として悩みや不安を打ち明け、相談できる環境の充	<ul style="list-style-type: none">・各キャンパスの生徒層によってスクールカウンセラー配置を柔軟に行う。・多様な生徒を受け入れる高等学校であるため、各キャンパスの状況に合わせた教

担任指導			<p>実が必要である。</p> <p>生徒一人ひとりに対しての指導における教員の人数配置が適正であるかの見直しも図る必要があり、また、個々の教員のスキルを向上させるための研修プログラム等の検討も必要である。</p> <p>昨年度と同等(昨年度と比較し微増)の結果となった。進路決定率は80%以上の数値となり本校の特色である姉妹校の専門学校や大学と連携した進路指導が根付いていると考えられる。この取り組みについては今後も継続して推進していく。一方、一人ひとりの進路実現に向けて、進路活動に役立つ様々な企画運営については、今後一層励まなければならない。</p>	<p>職員の質向上のための研修の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング基礎講習の受講を早期化する。 ・教員は生徒一人ひとりに対して一層の個別指導に時間をかけ、動機付けを行う必要がある。 ・個別面談の実施回数を増加させる。 ・資格取得に向けての講座を企画開設してサポートする。 ・適切な時期にガイダンスを開講する。 ・グループ姉妹校によるガイダンスの開催。 ・自己の在り方・生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、自ら課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する探究学習活動 ・三幸学園ネットワークを生かした多様な専門学校、大学、短大、企業との有機的連携による生徒一人ひとりのキャリア観の醸成
	3.6	3.6	<p>昨年度と同等(昨年度と比較し微増)の結果となった。全項目において向上及び維持し、低下した項目が無かったことは評価できる。</p> <p>通信制の特殊性を考慮し、様々な困難を持ちえた生徒一人一人に合わせた指導を行っていく。</p>	
<p>授業内容</p> <p>授業の質</p>	4.4	4.4	<p>昨年度と同等(昨年度と比較し微増)の結果となった。全項目において向上及び維持し、低下した項目が無かったことは評価できる。</p> <p>授業は、高等学校教育の根幹であるため、引き続き、教職員の授業力向上及び教育環境の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業力向上のための研修実施 ・生徒一人一人の学習状況に合わせた指導 ・どこからでも学習できる通信制の強み×先生からの直接指導を受けられる対面型教育
<p>学校満足度</p> <p>指導内容 環境整備</p>	3.8	3.9	<p>昨年度と同等の結果(昨年度と比較し微減)となった。</p> <p>通信制の特殊性を考慮し、様々な困難を持ちえた生徒一人一人に合わせた指導を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人に合わせた多岐にわたるサポートの充実(生活習慣、学習等) ・通信制の特性を生かしたコミュニケーション体系化 ・各教科での学びを横断的に活用し、社会の課題に向き合う力を養うSTEAM学習の実践 ・チャレンジの場を通して「やったらできた!」を繰り返し、成功体験を重ねるSanko Success Systemの実践